

{アンケートの回収状況} 解答者数36 : 母数65 = 55%

1) 協会設立後の活動について

(1-イ) 満足 = 5 : やや満足 = 7 普通 = 18 ・ やや不満 = 6 ・ 不満 = 0

(1-ロ) やや不満・不満の理由

1. 協会としての活動が少ない。 2. 役員主体の活動になっている、修正の要。 3. 仕事が忙しい。 4. 会員意識がやや低調。 5. セミナー 出席者が少ない、これは会に魅力がなく、不満があるからではないか。 6. どのように参加すれば良いのか、身近なものになっていない。

(1-ハ) 今迄に協会の活動に参加した = 24 ・ 参加していない = 11

(1-ニ) 参加できない理由 : 1. 特に参加の要請なし。 2. スケジュールが合わない。 3. 仕事が忙しい。 4. 遠いので行けない。 5. 会員のベクトルを併せて、会員相互の繋がり考え、ワイワイガヤガヤできる会を望む。

2) 個人的な環境カウンセラーとしての活動実績 (活動実績ない = 22 ・ 実績あり = 12)

1. 京都府技術アドバイザー。 2. ISOコンサル・省エネ・ゼロエミッション・月刊誌執筆。 3. 市民向け「地球温暖化防止」講演。 4. 大阪府政モニター・経営者協議会、環境ホルモンの講義。 5. 高槻市環境教育プロジェクトアドバイザー。 6. 市民講座。 7. 環境活動評価プログラムの普及講演会。 8. 市民講座講師・小中学校授業協力・住民活動支援。

3) これからの協会の活動は?

1. 行政からセミナーの受託 (環境学習センターなど)。
2. E A E Pの普及活動 (中小企の環境改善)。
3. 環境保全活動相談センターの開設 (P R T Rも含め)。
4. 環境監査活動
5. 市民への啓発が急務・市民講座の講師。
6. 「不法と投棄を止めよう」啓発運動。
7. 学校・自治体での教宣活動を通じてのエコサイクル活動。
8. 現在のままで会員を増やす工夫をする。
9. 大阪府産業廃棄物協会のプロジェクトを突破口にして拡大する。
10. 環境セミナーの実施。
11. 他の環境団体と共催によるセミナー (技術士会など)。
12. N P O法人となり官庁と連携し収益を確保し発展させる。
13. 太陽電池・コジェネ・植物にシフトを変えては。

4) その他の協会に対する意見

1. 平成12年にN P O法の見直しが行われるので、その後申請してはどうか。
2. 賛助会員・学生会員・法人会員などを作り、会員の増加を図る。
3. N P O法人となり、ホームページを設け、メールを普及させる。
4. 協会は人材の宝庫です、相互研鑽を。
5. 自治体主催の環境フェアにコーナーを設置、出前講座
6. 現在の活動では6000円の会費は高い、もっと積極的に。
7. 財政面での強化が肝要。
8. N P O法人格取得は積極的に。
9. 地域の小さな環境問題に目をむけ、共に考えて行動する。
10. セミナーの場所を変えることでO E C AのP Rにもなる。
11. 広報活動を入念に。
12. 事務所の確保 (了)